

平成18年度病害虫発生予察注意報第1号

平成18年5月11日
鳥取県病害虫防除所

注意報の概要

4月以降、ナシ黒星病の発生に好適な条件が続いている。今後、本病の発生増加が予想されるので追加防除を実施する必要がある。

病害虫名：ナシ黒星病

- 1 対象作物 ナシ
- 2 発生地域 県下全域
- 3 発生時期 平年並
- 4 発生量 多い
- 5 注意報発令の根拠

(1) 4月以降、本種の発病に好適な低温多雨の気象条件が続いており、病原菌の病落葉からの子嚢のう胞子および芽りん片病斑からの分生子の飛散数が平年を大きく上回っている(表1、2)。

(2) 5月上旬現在、現地ナシ園では幼果での発病が散見される。

(3) 気象予報によると、向こう1か月の降水量は平年並か多いと予想されており、本病の発生に好適である。

6 防除上注意すべき事項

(1) 発病した幼果や葉は取り除き、園外に持ち出すなど処分を徹底する。

(2) 発生が多い園では、直ちに通常の防除薬剤に加えて治療効果の高いE B I剤(アンピフロアブル1,500倍液、マネージ水和剤4,000倍液、スコア顆粒水和剤4,000倍液)などを追加散布する。

表1 病落葉からの子嚢のう胞子飛散状況

月・半旬	本年	平年
3・6	0.0	0.6
4・1	6.0	0.8
2	3.0	3.3
3	74.0	4.4
4	26.0	11.8
5	5.0	12.6
6	84.0	10.3
5・1	47.0	7.9

表2 果(花)そう基部病斑からの胞子飛散状況

月・半旬	本年	平年
3・6	67.7	3.0
4・1	13.9	5.9
2	6.4	4.5
3	32.7	15.2
4	28.2	46.3
5	0.5	26.9
6	1.0	63.9
5・1	57.5	29.4